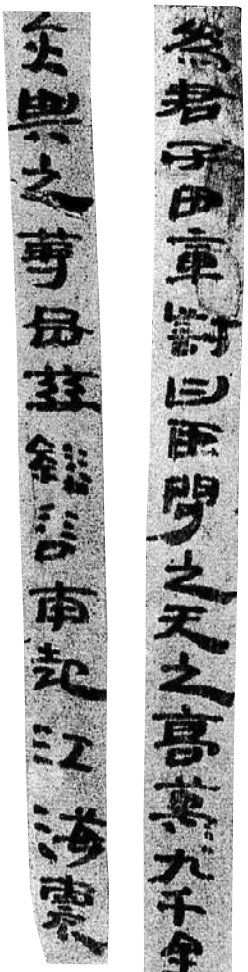
名蹟紹介



表紙紹介

黄庭堅（1045～1105）◆**松風閣詩巻**

中国北宋の書家・詩人・文学者。字は魯直、号は山谷道人、黄山谷と呼ばれることが多い。草書を得意としたが、行書も洗練されており力強く、独特の創造的書法をもつ。これらの書法は後世に大きい影響を与えた。蘇軾・米芾・蔡襄と共に宋の四大家と称される。松風閣詩巻は晩年の作で、自詠の詩を行書で29行書いている。

（台北・国立故宮博物院蔵）

木簡（漢・晋時代）

紙が発明されるまで使用された書写材料の一つ。竹簡とならび石刻ではうかがうことのできない当時の書法を、肉筆を通して知ることばかりでなく、書体変遷の過程を明確に示す資料として書道史上の価値はすこぶる高い。

1901年、ハンガリーのオーレル・スタインのシルクロード探検によってタクラマカン砂漠南端の尼雅遺跡から出土した晋代木簡とスウェーデンのスウェン・ヘディンによる楼蘭故址より晋代木簡の出現は、画期的な事件であった。

木簡の形状は、普通長さ23㎝、幅1.5㎝内外のものが多い。書かれている内容は書記録・書簡・暦・貢物目録など広範囲にわたり、書体は古隷・八分・草隷などで書かれている。このことから前漢時代、早くも隷書を草書化した文字が使われていることがわかる。

田章對曰　臣聞之　天之高萬〻　九千里

（136×35㎝）

守清虚

（54×50㎝）

清虚を守る（潔白でわだかまりのない生活を保ち守る）

「木簡」と言えばまず思い浮かべるのは古川暁洲先生です。先生は前半は呉昌碩や張瑞図を熱心に研究されていましたが、いつの頃か取り付かれたように木簡にのめり込んでいた覚えがあります。素朴な表情とリズムに憧憬を深めたのかもしれません。

木・※竹簡、※帛書を総称して木簡と呼んでいますが、文字通り木片に書いてあるのがそれに当たります。

※竹に書いたもの　※絹に書いたもの

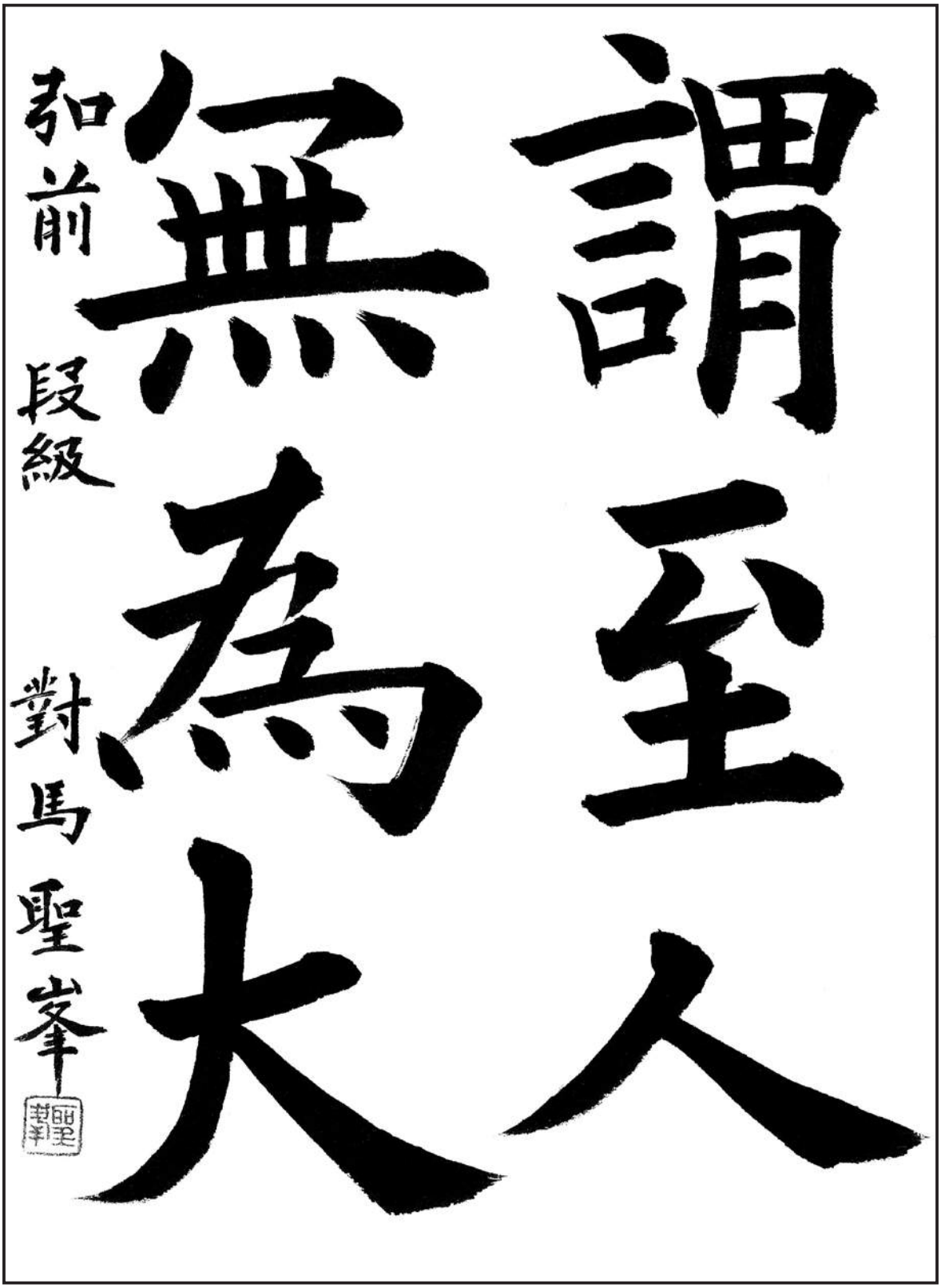
木簡調の実作としては、秦隷（篆意の強い古隷が多い）・草隷・章草体を使い分けたりするのもおもしろいです。

この作は、通称、武威漢簡の特徴の一つである八分隷に焦点を当てて書きました。普段の不勉強さがたたった付焼刃的で汗顔の至りです。

4月号　　楷書臨書課題（漢字半紙部）　對馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（花林）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

楷書臨書課題解説

欧陽詢　九成宮醴泉銘

◆九成宮醴泉銘について

貞観6年（632）の建碑。唐の太宗が、随朝の仁寿宮を改修した九成宮へ避暑に行ったとき、宮殿の一隅に醴泉（味のよい泉）が湧き出したのを記念し、名臣魏徴が勅使によって撰文し、欧陽詢も勅を奉じて書いた彼の楷法傑作中の傑作とされているものである。欧陽詢76歳の大作である。いかにも清潔で完成度が高い。「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」と並び称される代表作である。原碑は峡西省の麟遊県にある。

※平成16年度から平成22年度まで本書で、楷書臨書課題として使用したので、今年度はその続きの文字から始めることとした。

〔謂〕 偏は横の間隔を等しく、旁は縦長に偏とのつり合いを考えて。

〔至〕 下部の広い台形にまとめ、点は大きめに内に入れ込む。

〔人〕 左右はらいの方向と接する部分に注意し、横広にまとめる。

〔無〕 横画の間隔は上部を広くとり、4つの点は表情を変える。上部を狭く下部で大きく広がる。点は上部に置き、下に余白を残す。

〔爲〕 不等辺三角形にまとめる。横画とはらいは右側に長く張り出す。

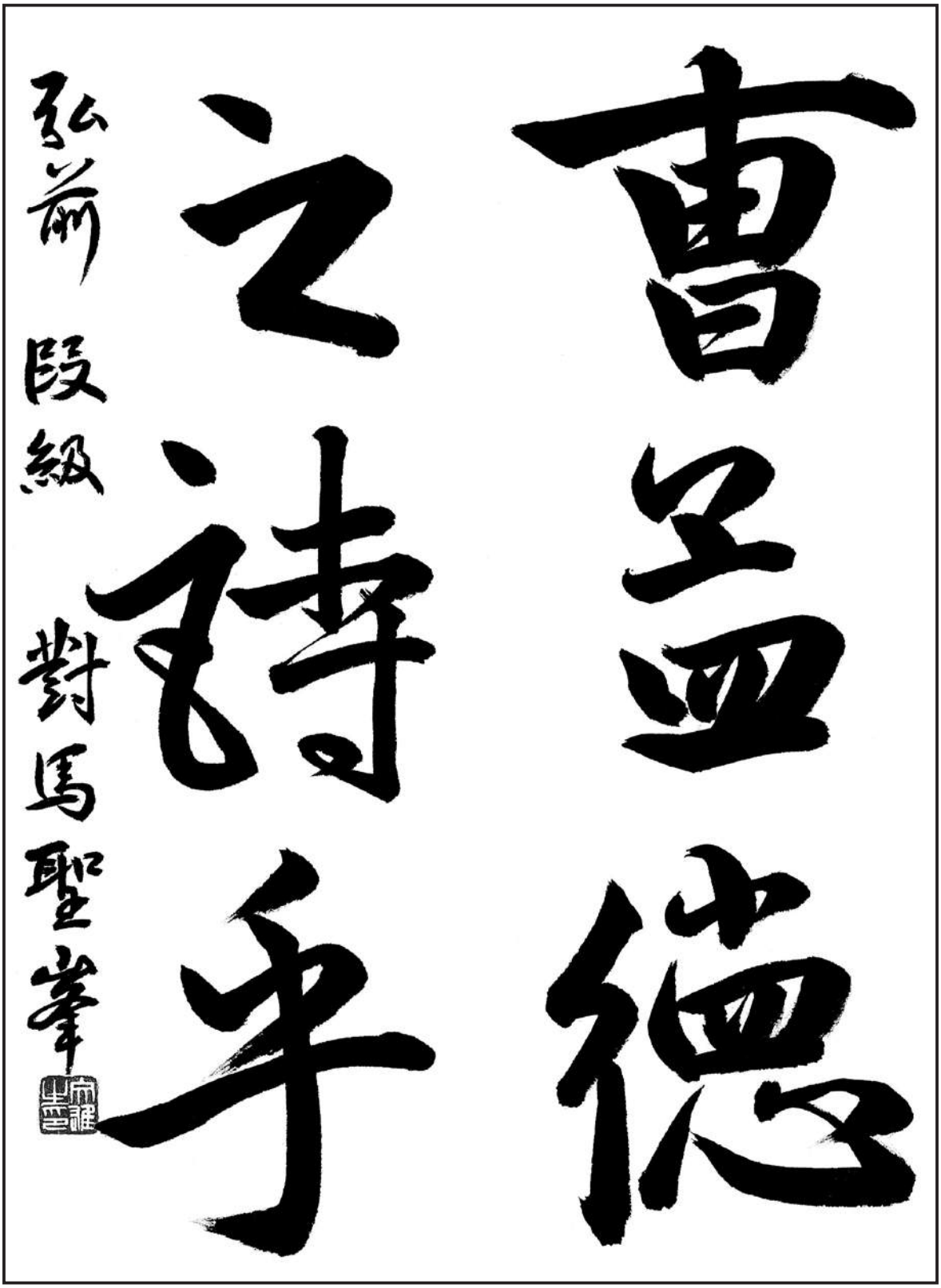
原帖

〔謂至人無爲大〕（所）謂至人は為す無く、大（聖）は、

4月号　　行書臨書課題（漢字半紙部）　對馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

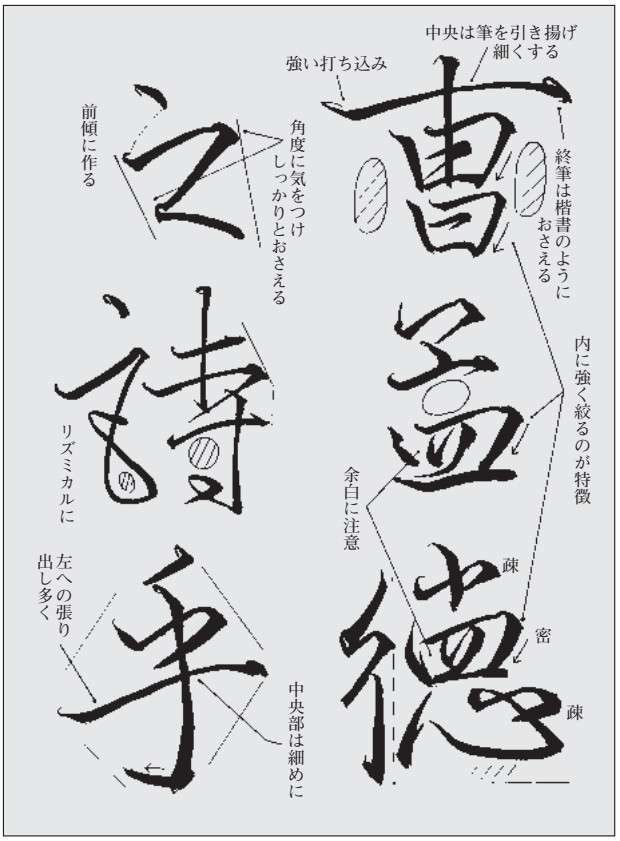
※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（花林）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

行書臨書課題解説

趙孟頫（ちょうもうふ）　前赤壁賦（ぜんせきへきのふ）



〔曹〕 1画目は強い打ち込みで、角度にも注意して入筆し、終筆は楷書のようにおさえる。下部は引き締めて左右に余白を残す。

〔孟〕 この字は小さく引き締める。余白の取り方に配慮し、皿の右側は内側に強く絞る。

〔徳〕 偏の幅を狭くつくり、左に寄せる。旁は上部を狭く下部で広がる。心は横広に明るく軽快な動きで。

〔之〕 小さく位置に注意し前傾姿勢に。折れの角度に気を配り、しっかりおさえる。

〔詩〕 全体に細い線だが、直筆で骨力を失わないようにする。偏はリズミカルな運筆で、旁はやや楷書に近い形になる。

〔乎〕 全体に菱形にまとめ、横画は左へ長く出し、中央部は細めにする。最終画終筆は横にしっかりとはねる。

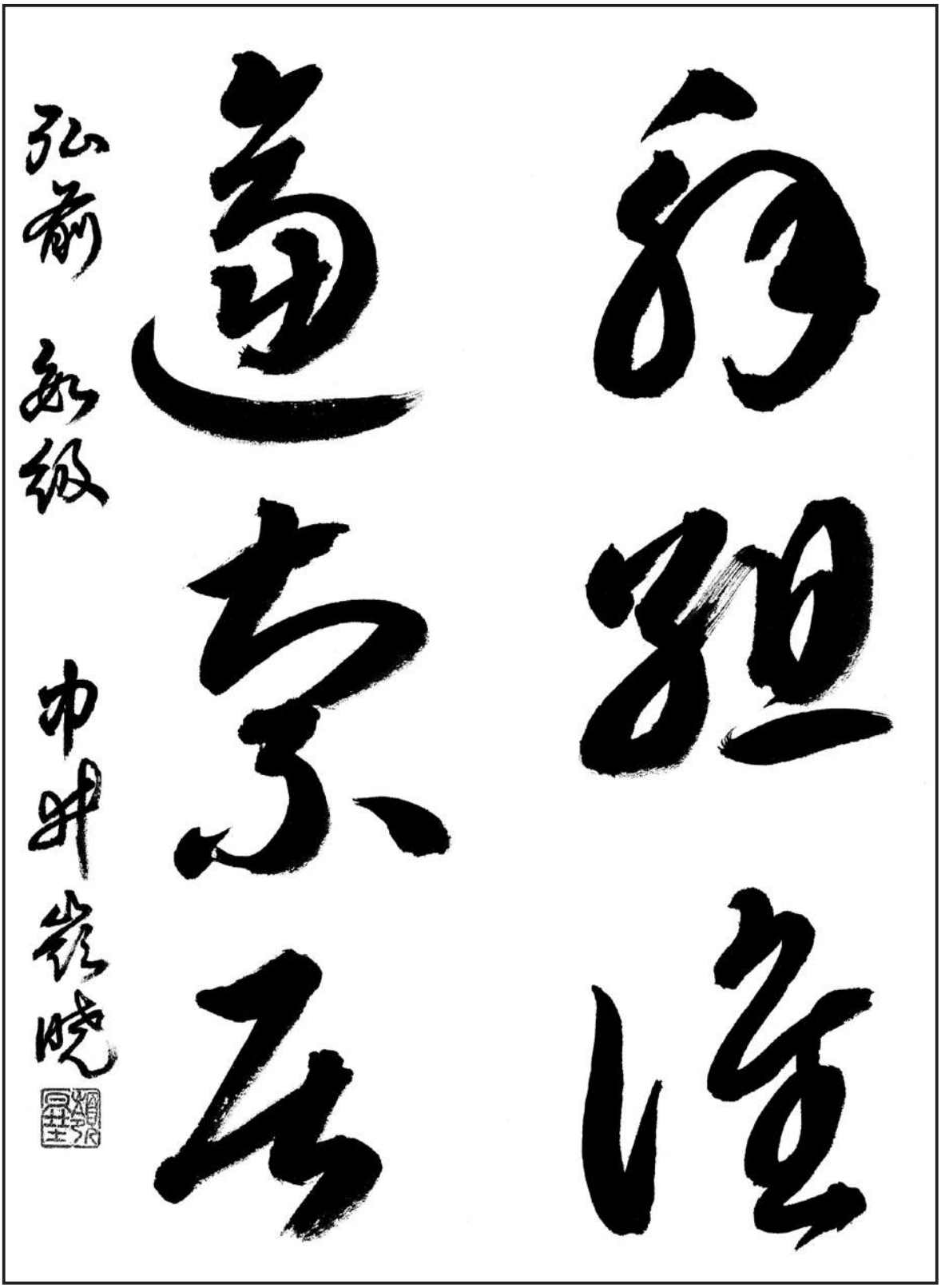
原帖

〔曹孟徳之詩乎〕曹孟徳（もうそうとく）の詩（し）に（非（あら）ず）や。

4月号　　草書臨書課題（漢字半紙部）　　中井嶺暁臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（四海）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

草書臨書課題解説

智永　草書千字文

〔解〕 全体に楕円形にまとめ、内部の余白を広くとる。入筆は力強く、動きを大きくスムーズな運筆を心掛ける。

〔組〕 偏・旁ともに右上がりの造形なので最終画横画をそらせて安定させる。細部余白の取り方に配慮する。

〔誰〕 偏は柔らかい線で、旁との間を広くあける。旁は転折でしっかりと方向を変える。

〔逼〕 上部は幅を狭く左側を縦に一線に揃える。辶は厚みのある線でゆったりとはらう。

〔索〕 全体に縦長にまとめ、重心を左に、終筆で均衡を保っている。

〔居〕 転折でしっかりと方向を変えて、小さくまとめる。次第に筆圧を加えて終筆は太目に。

原帖

〔解組誰逼索居〕組を解きては誰か逼らん。索居…。

4月号　　隷書臨書課題（漢字半紙部）　　對馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く

使用筆（四海）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

隷書臨書課題解説

乙瑛碑（いつえいひ）

原帖

〔米祠臣愚以爲〕米祠（べいし）を（給す）。臣愚以為（しんぐおも）えらく、

〔米〕 左右対称にまとめ、下部で広がり安定させる。余白の取り方を均等にし、5画目は次第に筆圧をかけて終筆は丸くおさえる。

〔祠〕 偏と旁の幅はほぼ同じ。偏の横画は右上がりにし、旁は肩を柔らかく下げて、バランスをとる。旁の下部に余白を残す。

〔臣〕 横の間隔を等しく、安定した形にまとめる。最終画は筆圧をかけてどっしりと、はらいは切れ味よく。

〔愚〕 上部を狭くし下部で広がり、安定した形に。上部の余白は均等にとり、**心**の2画目が主画となるので十分に長く強調させる。

〔以〕 偏は左に傾斜させ小さく。旁は右はらいを長く、右下に下げる。

〔爲〕 上部の左下への呼吸の長い線が主画となる。終筆はしっかりと腹で押し込む。4つの点は表情を変えて。

※隷書を半紙に臨書する際の注意点は、左右の文字の上部を揃えること。そうすると高さが違う文字でも、全体にまとまって見える。

4月号　　中字課題（漢字半紙部）　　津島春汀書

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

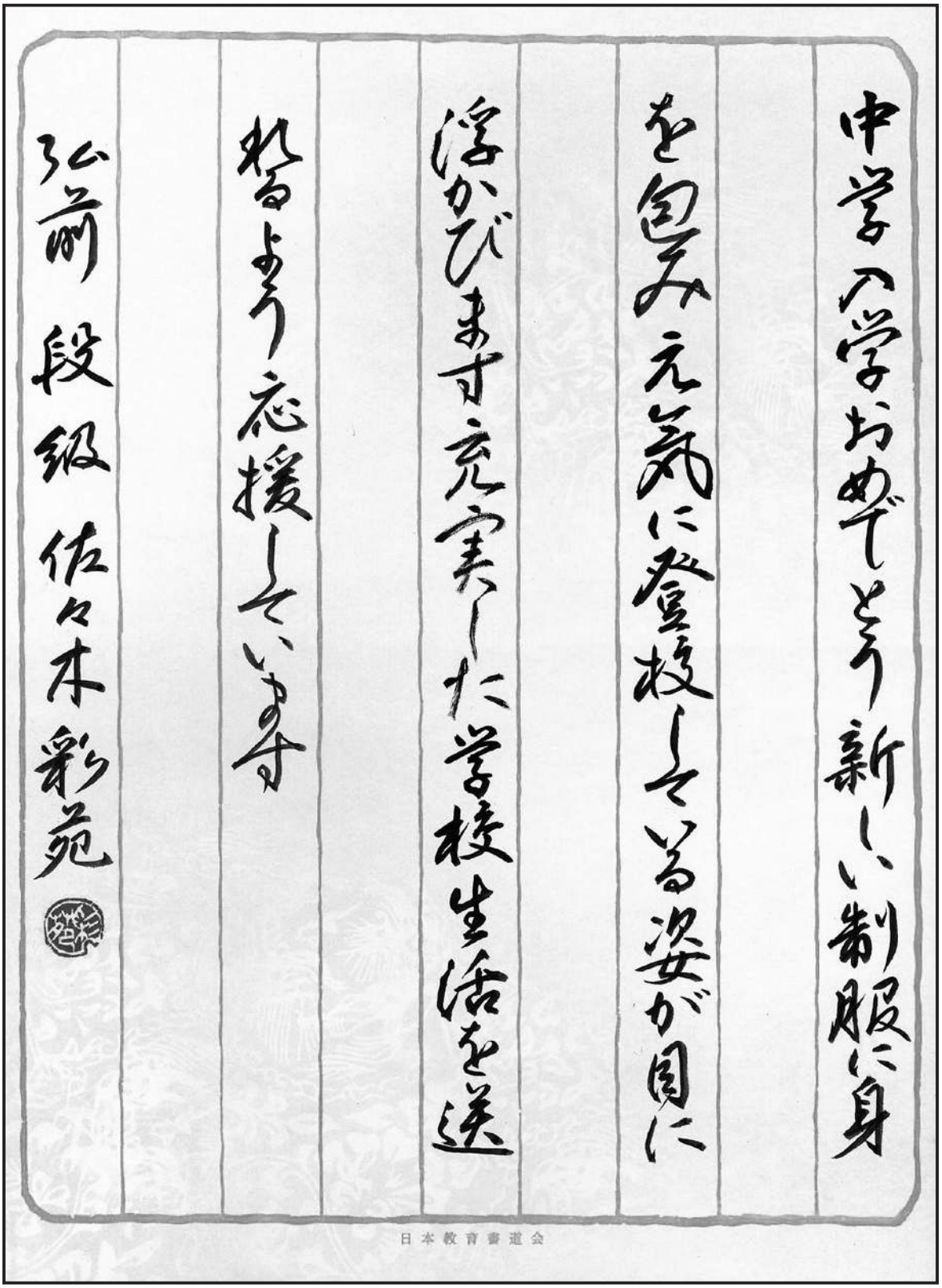
楷・行・草の三体字典からとっています。

※弘前の部分には支部名を書く

◎19頁に部分解説があります。

使用筆（天開）・使用紙（中字用半紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

※出品段級位（調和体部 新級～正師範）



読み―中学入学おめでとう新しい制服に身　を包み元気に登校している姿が目に浮かびます充実した学校生活を送　れるよう応援しています

（◎印墨つぎ）

※**弘前**の部分には**支部名**を書く

◎19頁に部分解説があります。

使用筆（からまつ）・使用紙（調和体用紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

漢字条幅漢詩課題

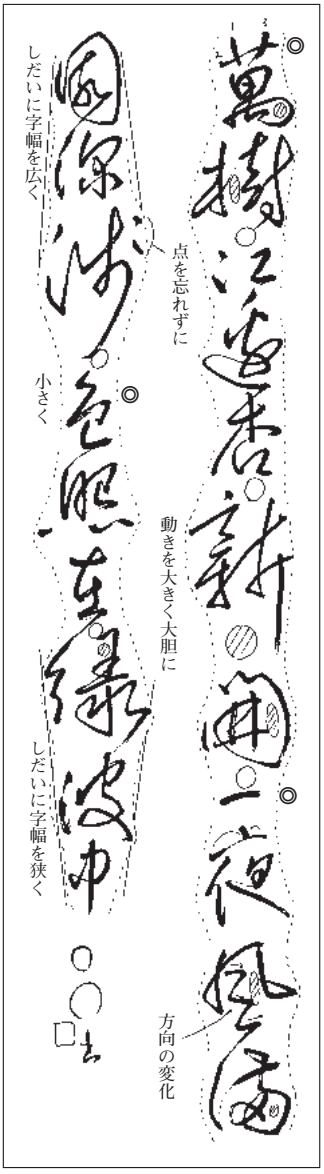
A 漢字条幅部
※出品段級位（新級～正師範）

このページの課題は半切2行書きで、本文・落款・印の三つで構成されています。本文には漢詩20字（五言絶句）が1行目に11字、2行目に9字書かれています。課題によっては1行目12字、2行目は8字の時もあります。その下に落款（名前・雅号）と印が押されています。

手本が手元に届くとすぐに書きたくなりますが、その前に手本を細部までよく観察してください。どんな風に感じるか、それぞれの感性で捉えて下さい。次に手本と手本左に載っている釈文を一字ずつ照らし合わせて、何という文字か、くずし方や筆順など、誤字を書かないようによく確認しておきます。できれば、詩文の内容も理解しておくとよいでしょう。手本右の骨法には、作品の作り方がわかりやすく書かれています。文字群や字間・文字の大小・潤渇の変化などを前もって把握してから筆を持つと、まとまりやすくなります。

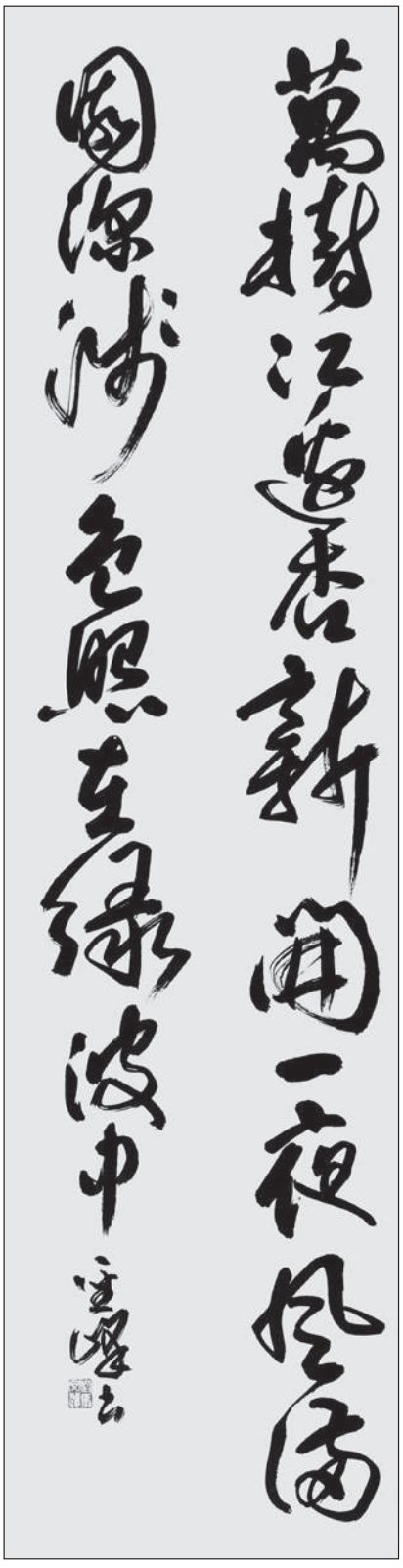
『新年度になり気分が一新したところで、創作ベースの古典も王鐸から傅山に変えました。とは言うものの、人が同じなので大した新鮮味を感じないかもしれませんが、傅山調の特徴は、うねりながらの大胆な線にあります。筆鋒が線の中心を通る用筆＝中鋒で運筆してください。』

（『 』内は對馬聖峰より）



使用筆（白神）・使用紙（漢字条幅用紙半切・梅花箋）・使用墨（頂煙翰墨自在〈固型〉）

對馬聖峰書



〔萬樹江邊杏　新開一夜風　滿園深淺色　照在綠波中〕王　涯　（◎印は墨つぎ）

読み―万樹江辺の杏、新たに開く一夜の風。満園深浅の色、照らして緑波の中に在り。

意味―川岸の木はみな杏、一夜の風で咲きはじめた。庭中のあらゆる濃淡の色が、緑の波に照らされている。

半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

揮毫動画を配信しています
詳しくはP39をご覧下さい

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。
なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

漢字条幅臨書課題

B 漢字条幅部

※出品段級位（新級～正師範）

◆王羲之（集字聖教序）

◎行書の基本点画

（十九）

（十九）新月の六種

①は楷書とほぼ同様。②は末筆に次への意連の趯（はね）が見える。③は②の起筆を特に強くしたもの。④一体に筋（きん）を多くして随って趯も強い。⑤努（ど）法依る。⑥は軽快に鋭く、趯を長くする。以上の六種の用法はどの字にと限らない。

手本課題を見ると、**蔵**は④に近く、**國**は⑤に似る。

對馬聖峰臨

〔藏三篋之文　波濤於口海　爰自所歷之國　摠將〕（◎印は墨つぎ）

読み―（八）蔵三篋の文は、口海に波濤す。爰に歴（ここ）る所の国より、摠じて（三蔵の要文を）将（もた）らすこと、

意味―（八）蔵三篋といわれる各種の経蔵の文も、まるで海に波が沸き立つように口ずさむことができるようになった。ここで、歴訪した国々より、（三蔵の経典の内で重要なものを）持ち帰り、

使用筆（神技北斗）・使用紙（漢字条幅用紙半切・華心箋）・使用墨（黒耀〈固型〉）

半　切（約136×約35センチ）

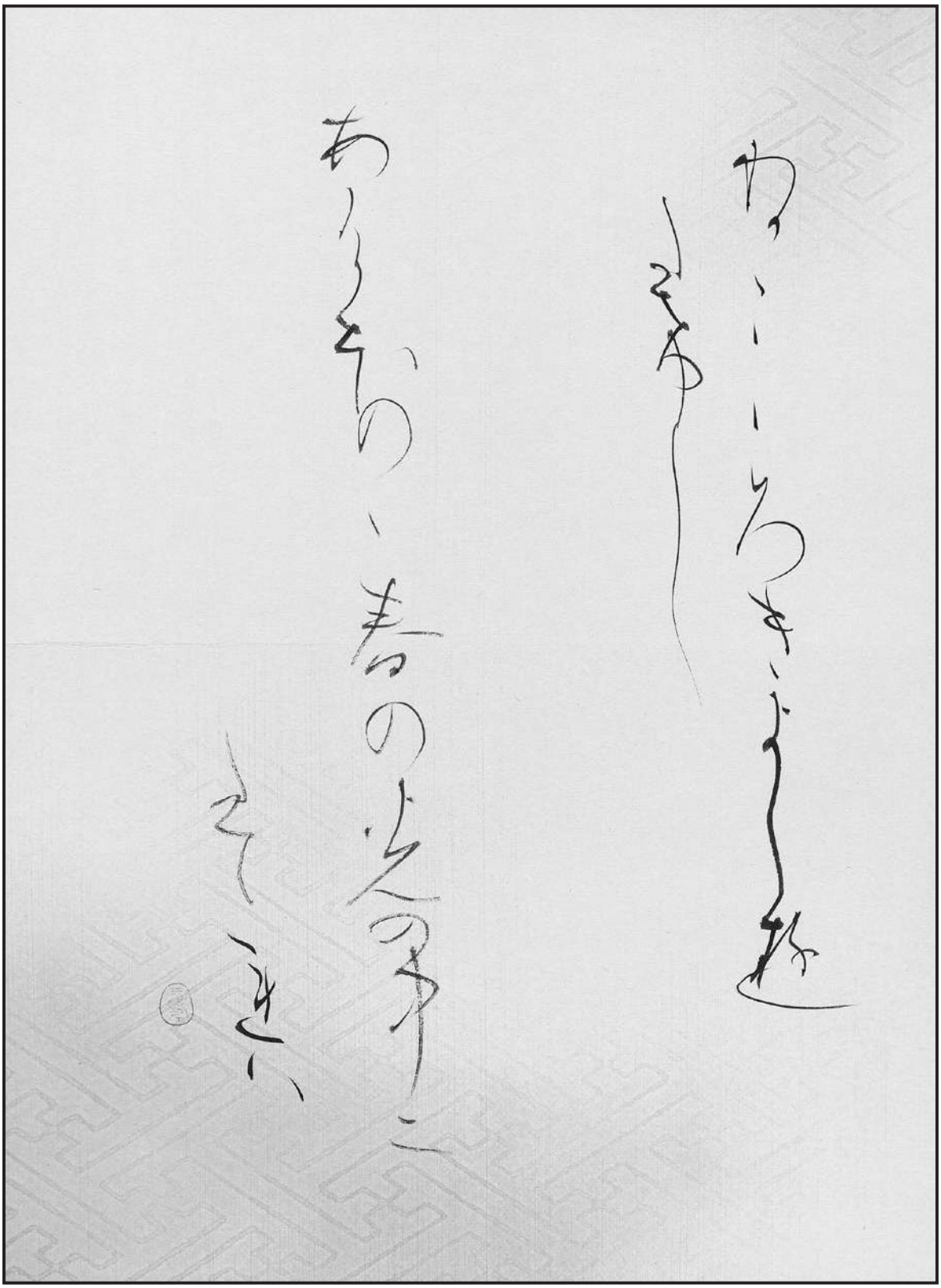
半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

4月号　　かな課題(かな半紙部)　　湯川三壽先生書

※出品段級位（かな半紙部 新級～正師範）



◎わ可こゝろきよし遊多希しあ介本のゝ春の光の中二多て連八◎（◎は墨つぎ）

使用筆（南風）・使用紙（かな用料紙）・使用墨（天衣無縫〈固型〉）

※19ページに解説があります。

読み―わが心清しゆたけしあけぼのの春の光の中にたてれば（佐佐木信綱）

意味―わたしの心は、いま清く豊かに感じられる。明けていく春の光の中に立っていると。

注意→支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

かな条幅課題

かな条幅部
※出品段級位（新級～正師範）

早く上達して、少しでも手本のように書きたい。と思われる方も多いと思います。しかし、上達するには粘り強く修練するほかありません。そのためには体力も大切です。体調が悪い時に書いても、線に張りがなかったり、ふらついたりします。また、体力だけでなく精神修行も必要です。

全神経を毛先に集中させ、これを継続して繰り返すことは、大変なことです。途中で心が乱れては、自分の思う線が書けない。一瞬でも気を抜くと、線は乱れてしまいます。それが乱れないように継続させるためには、強靭な集中力を必要とするのです。集中力を切らさないためには日々のたゆまない修練しかありません。

『穏やかで、ゆったりした気持ちになる歌ですね。今月は、そのムードを表現したく「松煙墨」の淡墨で、大らかな運筆、文字の中の白を大切にと思い書作いたしました。墨は、硯の丘で一度濃く磨った墨を硯の海の水と混ぜ、それを繰り返して、表現したい墨色を作ってまいりましょう。Instagram@sanjyukana』

（『　』内は湯川三壽先生より）

使用筆（雅）・使用紙（かな条幅用紙半切・桂風）・使用墨（天衣無縫〈固型〉）

湯川三壽先生書

◎〔王かこゝろ清志ゆ多希四曙の春のひ可りの奈可二多てれ者〕◎　（◎含墨）

読み―わが心清しゆたけしあけぼのの春の光の中にたてれば（佐佐木信綱）

意味―わたしの心は、いま清く豊かに感じられる。明けていく春の光の中に立っていると。

半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

注　意

かな半紙部門と段級位は異なりますのでかな条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

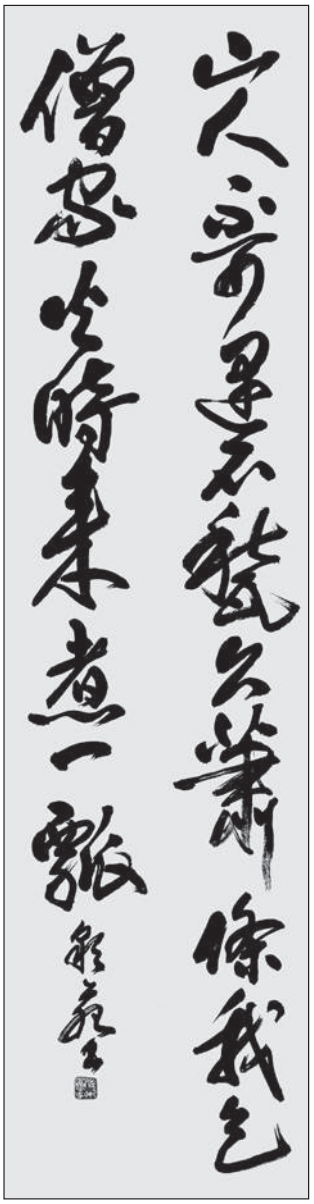
創作コーナー

1月号漢字条幅創作課題

山人不可遇　石甃久蕭條　我乞僧家火　時来煮一瓢

私の創作作品

佐々木　彩　苑



「王鐸」の「王覺斯詩冊墨蹟」をベースにすっきりとした線で書ければ嬉しいなあと思いながら制作しました。山場は2行目の「僧家」。

1月号創作概評

今月はどの作品も太い線を多用し、上手く書けています。相変わらず、アレッと思う連綿や語句を逆に書いた作品もあり、要注意です。（對馬　聖峰　評）

1月号創作出品者

※成績順に掲載します。（○印は写真版）

〈漢字条幅〉

○工藤　笑風　……谷地　敬川　……川井　幽香
○桑田　麗月　……佐藤　春芳　……竹谷　恵峰　……伊藤　照峰
○赤坂　陽凛　……中井　厳翔　……柳谷　玄海　……髙橋　宏三

4月号　漢字条幅創作課題

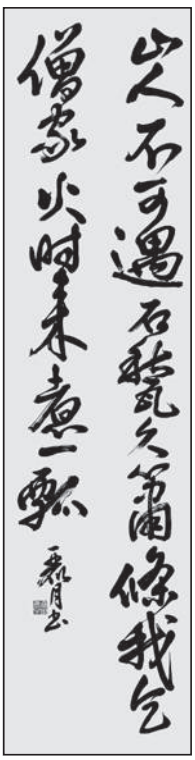
出品資格「漢字部門初段以上」
作品締切日…4月25日必着

雲去蒼苔綠　風來古樹春　荒碑無篆迹　山亦解亡秦

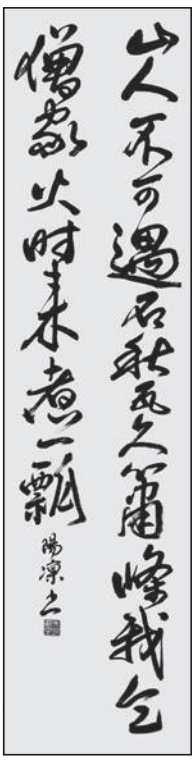
読み－雲去りて蒼苔緑に、風来りて古樹春なり。荒碑篆迹無く、山も亦た亡秦を解す。
意味－雲が去ると蒼い苔が緑となり、風が吹けば古木にも春。荒れた碑に篆題の跡もなく、山もまた秦が亡んだことを理解しているよう。
（王乗箓）

創作出品規定　作品左下に台帳番号・段位・姓号を記入。例月作品とは別送し「創作コーナー」係まで。作品返送希望者は、返送用封筒に住所・氏名を書き、切手を貼って同封下さい。

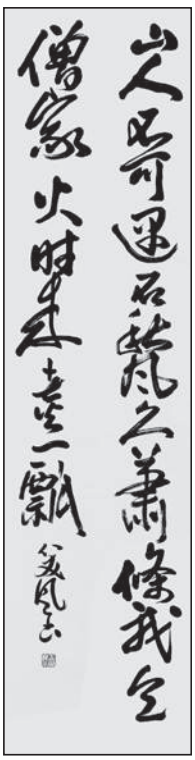
1月号　創作優秀作品



桑田　麗月…行の流れが自然で、落ち着いた作品。2行目下部にぐらつきが見える。



赤坂　陽凛…最近にない躍動感がある作品で素晴らしい。



工藤　笑風…闊達な線は魅力的。2行目火から3文字の流れは注意。

書作品を書こう

ご覧のように今月から1ページに拡大しました。今まで参考作品が小さく見にくかったせいで、寄せられた作品の中に誤字がたびたび見られました。また、本コーナーは少しずつですが、広がりをみせており、優秀作を一点に絞るのに難儀し、思い切って2点を紹介します。どうぞこれからも奮ってご出品ください。

今月は年度スタート月でもあり半紙に戻しました。初めての書友も気軽に書けると思います。

（半紙）

静泰（せいたい）　しずかなること。やすらか。

12月号　優秀作品

（半切1/2）

山谷　梅華

◎非常に強く鋭いタッチの線が魅力。中心部の「一筋」と「し」がポイントになって作品にインパクトを示す。今後に大いに期待。

（半切1/2）

村上　陽香

◎扇面形と穏やかな風情の書きぶりがとてもよくマッチしている。句の持つ固い決意がこの作品の雰囲気でケセラセラのように感じるのは自分だけか。

出品規定

1. 締　切　**令和4年5月10日**（4月号例月作品に同送可。その場合、別封筒に入れて「書作品を書こう」と書いて同送のこと。）
2. 発　表　令和4年8月号
3. 規定用紙　**半紙（33×24㎝）漢字（1人1点タテ）**
4. 優秀作品1点だけ紙上にて発表（批評コメントつき）その他は姓号のみ発表
5. 段級位に関係なく誰でも出品可
6. 返送不可

※出品は掲載している同作品または、当月規定用紙であれば自由作品も可。ただし、**参考作品が漢字の時は漢字作品を、調和体の時は調和体作品を出品して下さい。**

※作品左下に姓号を鉛筆で記入して下さい。

出品者（順不同）

竹谷恵峰　山内瑞峰　鳴海蓮峰　伊藤照峰　幸林春景

吉田翠葉　柳谷玄海　関口暁水　小池彩霞　飯村華晴

※出品段級位（ペン部 新級～正師範）

4月号　　ペン楷書課題（ペン部）　　三浦景秀書

臆病になるな
他人の目や
陰口にとらわれず
自分のやりたいことに
忠実になろう

常盤新兵

支部名
学年
段級位
初めての人は新と書く
氏名

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価１１０円

（ボールペン0.7・硬筆用紙６行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～正師範）

4月号　ペン行書課題（ペン部）　三浦景秀書

臆病になるな
他人の目や
陰口にとらわれず
自分のやりたいことに
忠実になろう

常盤新兵

支部名
学年
段級位
（初めての人は新と書く）
氏名

※常盤新兵（1931年～2013年）…作家、翻訳家、アメリカ文化研究者。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価110円

（ボールペン0.7・硬筆用紙6行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～正師範）

4月号　　ペン横書課題（ペン部）　　三浦景秀書

私が相像できる
最も悲しい事は
ぜいたくに慣れて
しまうことだ　チャップリン

※チャップリン（1889年～1977年）…イギリス出身の映画俳優、映画監督、脚本家、映画プロデューサー、作曲家。

（ボールペン0.7・硬筆用紙8行使用）

支部名

段級位
初めての人は新と書く

氏名
支部名、段級位、氏名も横書きで書いて下さい

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価110円